

ウミサボテン

ウミエラ目ウミサボテン科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

Cavemularia obesa Milne-Edwards et Haime

選定理由

水深がやや深い砂泥底に生息し、年々少なくなっていると思われる。

形態

群体はこん棒状をしていて柔軟性があり、伸びると50cmにもなる。

国内分布

石狩湾以南に分布。

県内分布

水深10m以深より見られるが、九十九湾では近年あまり見かけなくなった。七尾南湾・西湾・北湾にやや多く見られる。また、珠洲市粟津海岸でも確認している。加賀から外浦海岸でも生息すると思われるが情報不足である。

生態

内湾の20m以深まで生息、日昼はちぢんで砂泥に潜っていることが多い。刺激するとかなり強い発光をする。ウミエラ類は八放サンゴの仲間で、固着しない個種群である。

生育地の条件

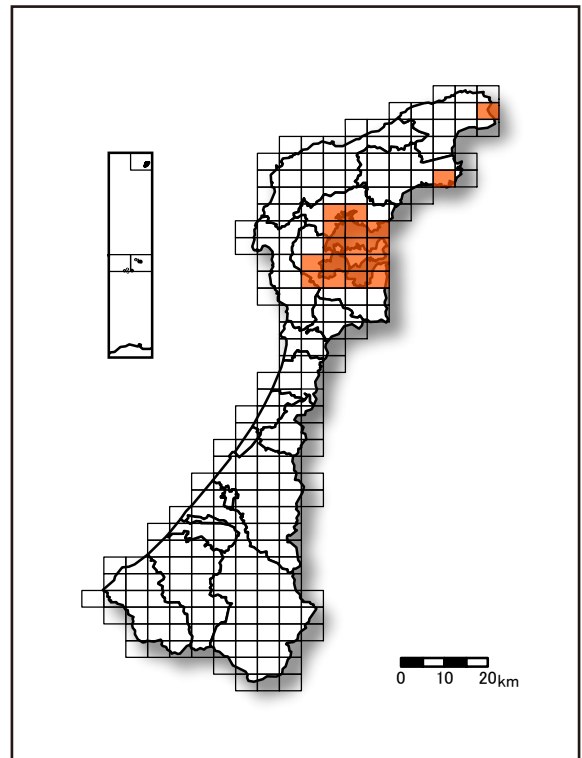
比較的波あたりの少ない内湾の砂泥に生息しているため人為的攪乱には弱い。

生存の危機

ナマコなどの桁網により生息域が減少していると思われる。



写真提供者：岡本武



県内の分布